

報道機関各位

北九州市都市ブランド創造局
(公財)北九州観光コンベンション協会

北九州市の国際会議開催件数が史上最高に！

— 2025年国際会議統計 —

国際会議協会（ICCA）※1が、「世界で開催された国際会議統計（2025年）」を発表し、北九州市が国内順位7位にランクインしましたので報告します。

ぜひ、周知にご協力いただきますようお願い申し上げます。

◆ICCAが認定した国際会議※2の開催件数 **本市史上最高の「16件」**

◆都市別国内順位 **「国内7位」（2年連続国内上位にランクイン）**

【開催件数が増加した要因と取組み】

北九州市は、観光庁の「グローバルMICE都市」※3に選定（2015年）され、市と（公財）北九州観光コンベンション協会が、商工会議所やホテル・旅行業の事業者等と連携して「北九州市グローバルMICE推進協議会」を設立。これにより、地域が一体となって誘致活動を行い、夜景や小倉城、門司港レトロといった本市が持つ豊富な観光資源を活かして開発したユニークベニュー※4や、小倉駅に集積した会議場やホテルの利便性などの開催メリットを大学等の学会主催者にご理解をいただいた結果と考えます。

【2025年ICCA国内順位】

1位	東京	119件
2位	京都	53件
3位	大阪	35件
4位	札幌	24件
5位	福岡	23件
5位	横浜	23件
7位	北九州	16件
8位	神戸	15件
9位	松江	14件

【北九州市の開催件数と国内順位の推移】

2025年	16件（7位）
2024年	15件（6位）
2023年	4件（16位）
2022年	6件（12位）
2021年	コロナ禍のため未発表
2020年	コロナ禍のため未発表
2019年	7件（13位）
2018年	8件（13位）

【添付書類】

- 1 日本政府観光局（JNTO）※5の報道発表「ICCAより2025年の国際会議統計が発表～日本は前年から1つ順位を上げ、世界6位にランクアップ」
- 2 国際会議の様子（写真：北九州観光コンベンション協会作成）

※1）国際会議協会（ICCA）

International Congress and Convention Association

国際会議の開催情報の収集・発信を行う国際機関。本部はオランダ・アムステルダム。会員は90ヶ国、1,000団体

※2）国際会議の定義

国際機関・国際団体（各国支部を含む）または国家機関・国内団体が主催する会議で、ICCAの基準は以下の条件を全て満たしているもの。

- ① **参加者総数：50名以上**
- ② **定期的開催される（1回だけ開催されるものは除外）**
- ③ **日本を含む3ヶ国以上で会議の持ち回りがある**

※3）MICE

企業等の会議（Meeting）

企業等の行う報酬・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）

国際機関・団体・学会等が行う国際会議（Convention）

見本市・イベント（Exhibition/Event）

などビジネスイベントの総称

※4）ユニークベニュー

会議・レセプションを歴史的建造物、文化施設や公的空間等で開催することで、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。

※5）日本政府観光局（JNTO）Japan National Tourism Organization

訪日外国人旅行者の誘致に取り組む日本の公的な専門機関。世界の主要都市に海外事業者を持ち、国際会議などの誘致を含む日本へのインバウンドのプロモーションやマーケティングを行っている。

【問合せ先】

◇本資料に関すること

（公財）北九州観光コンベンション協会 誘致部

担当：太田（事業調整官）、今永（部長） TEL 551-4111

◇北九州市のMICE戦略に関すること

都市ブランド創造局 MICE・メディア芸術課

担当：石川（課長）、篠木（係長） TEL 551-8152

お知らせ

すべてのお知らせ	出展・参加者募集
国際会議の 誘致成功案件	MICE市場 トピックス
JNTOの 活動	国際会議統計
その他	

2026年05月20日

ICCAより2025年の国際会議統計が発表～日本は前年から1つ順位を上げ、世界第6位にランクアップ～

ICCA（国際会議協会）より、2025年に全世界で開催された国際会議の統計^{*1}が発表されました。

2025年の統計では、世界の国際会議件数は2024年から12%増の12,438件となりました。

日本で開催された国際会議の件数は、2024年統計の428件から15%増の491件となり、2017年の第3次観光立国推進基本計画において、国際会議の開催件数に係る目標指標としてICCA（国際会議協会）統計基準が採用されて以降、初めて世界第6位となり最高位を更新しました。日本は、アジア太平洋域内においても、引き続き高い競争力を維持しており、アジア太平洋地域ランキングでは、中国（326件）、韓国（286件）、オーストラリア（241件）などを大きく上回り、2022年以降4年連続で第1位となりました。

さらに、アジア太平洋地域における都市別ランキングを見ると、国際会議開催件数5件以上の上位85位の中に、国内19都市がランクインしました。2024年と比較して、東京、大阪、横浜といった都市圏に加え、松江、奈良、鹿児島、熊本、高松など地方都市においても国際会議の開催件数が増加しています。また、国際会議の開催件数が1件以上の国内都市数は70都市以上と前年から増加しました。

本年3月に策定された第5次観光立国推進基本計画において、国際会議の開催件数に係る目標として「アジア最上位、世界5位以内」が掲げられているところです。国際会議の開催は、地域への経済効果、学術や産業振興に資するビジネス機会・イノベーションの創出、国や開催地のブランド力等の向上、交流人口の平準化等の意義があり、JNTOでは、今後ともコンベンション推進機関・国際会議主催者と一層の連携を図り、国際会議に係る需要喚起と誘致活動を推進していきます。

*1 本統計では、ICCAが公表している以下の国際会議統計の選定基準を満たした会議が集計されています。

- (1) 参加者総数：50名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3カ国以上で会議のローテーションがある（2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外）

※ICCA国際会議統計では、参加者総数が50名未満または不明の会議でも、ICCA登録のある過去の同会議シリーズのいずれかの年の会議で50名以上の対面参加の実績が確認できれば、基準を満たす会議として登録される場合があります。

[一覧に戻る](#)

国際会議主催者向け

JNTOの国際会議誘致・開催支援

国際会議誘致・開催支援サービス

誘致・開催までの流れ

都市・施設・事業者を探す

都市・施設を探す

各都市の支援一覧

事業者を探す

ユニークベニュー

ケーススタディー

主催者の声

主催者セミナー

[お問い合わせ](#)

[各種資料類](#)

国・地域及び都市別の国際会議開催件数（2025年）

国・地域別の開催件数

順位	国・地域名	件数
1	米国	792
2	イタリア	616
3	ドイツ	565
4	スペイン	544
5	英国	507
6	日本	491
7	フランス	476
8	ポルトガル	356
9	オランダ	330
10	中国	326
11	カナダ	312
12	韓国	286
13	ブラジル	276
14	オーストラリア	241
14	ベルギー	241
16	オーストリア	239
17	スウェーデン	227
18	ポーランド	215
19	デンマーク	204
19	ギリシャ	204

都市別の開催件数

順位	都市名	件数
1	リスボン	188
2	パリ	174
3	バルセロナ	166
4	ウィーン	159
5	シンガポール	156
6	プラハ	133
7	コペンハーゲン	131
8	ロンドン	124
9	ソウル	121
10	東京	119
11	バンコク	118
12	ベルリン	112
13	マドリード	108
14	ブリュッセル	105
15	香港	102
16	ローマ	101
17	アテネ	100
18	ダブリン	95
18	イスタンブール	95
20	アムステルダム	91
20	ブエノスアイレス	91
22	ブダペスト	90
23	台北	89
24	ドバイ	88
25	ポルト	84

アジア太平洋地域の都市別開催件数

アジア太平洋地域における順位	都市名	件数	アジア太平洋地域における順位	都市名	件数
1	シンガポール	156	23	札幌	24
2	ソウル	121	25	福岡	23
3	東京	119	25	横浜	23
4	バンコク	118	38	北九州	16
5	香港	102	41	神戸	15
6	台北	89	44	松江	14
7	クアラルンプール	73	57	仙台	11
8	シドニー	62	58	奈良	10
9	上海	57	63	金沢	9
10	京都	53	63	つくば	9
11	北京	51	75	名古屋	7
12	ブリスベン	50	79	広島	6
12	釜山	50	85	鹿児島	5
14	パリ	48	85	熊本	5
15	マカオ	47	85	恩納	5
16	メルボルン	45	85	高松	5
17	マニラ	38			
18	ニューデリー	36			
19	大阪	35			
20	杭州	27			
20	ホーチミン	27			

ICCA（国際会議協会）統計よりJNTOが作成。アジア太平洋地域の都市別件数の22位以下は、5件以上開催した日本の都市を抽出し掲載。

* ICCA の国際会議統計の選定基準：次の3つを満たすもの。

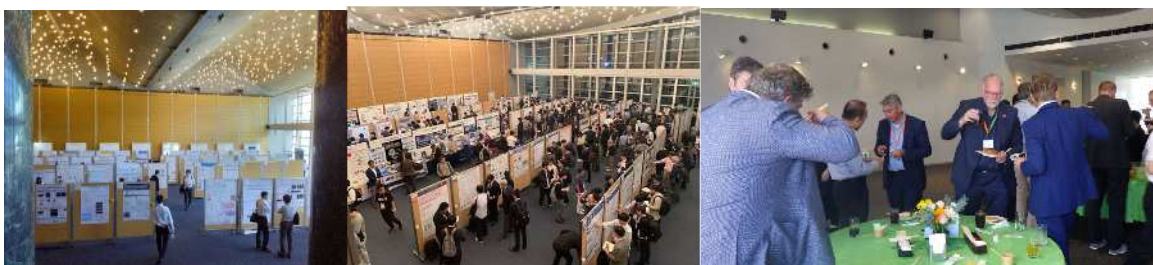
(1) 参加者総数：50名以上 (2) 開催期間：定期的に開催（1回のみ開催した会議は除外） (3) 開催国：日本を含む3カ国以上で会議のローテーションがある ※2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外

イメージ写真（国際会議の様子）

（１）会議場でのスピーチ、分科会



（２）ポスターセッション、コーヒープレーク



（３）エクスカーション



（４）バンケット、交流会、ユニークベニュー

